

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計								担当課	部課名	都市整備部北部区画整理事務所					
予算科目コード	会計	13	款	0	項	0	目	0		細目	00	説明	0	課等の長	富塚 隆彰	電話

1. 事業概要

事業開始年度	平成 3 年度	終了(予定)年度	令和 17 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	安全で快適な地域まちづくりを推進するため、産業と住宅が共存できる土地利用の実現に向けて、県道藤沢厚木線他6路線の都市計画道路等の整備により交通体系を確立するとともに、秋葉台運動公園をはじめ10箇所の公園、下水等都市基盤の整備による健全な市街地の造成を目的に275haにわたる区域の土地区画整理事業を推進する。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等	法律等	土地区画整理法			
事業実施内容	支障物件の移転47戸、仮換地先の造成29,318㎡、街路築造1,377m等の整備を実施し、事業の進捗を図った。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (株)湘南ウイステリアなど)				
	(委託等内容 : 建物等調査委託(建物等の調査及び移転補償額等の算定))				
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 企業庁水道局など)				
	<input type="checkbox"/> その他 ()				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	3,684,328 千円	業務委託費	205,824 千円	建物等調査委託(建物等の調査及び移転補償額等の算定)
		工事費	373,775 千円	街路築造工事, 造成工事
		補償費	2,516,031 千円	建物移転 47戸 用地補償 15ha
		工事負担金	113,343 千円	特別給水装置工事負担金
その他		475,355 千円	都市計画事業債償還元金, 補修費, 事務費	
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	
	3,684,328 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料	178 千円	
		国庫支出金	743,012 千円	
		県支出金	180,000 千円	
		その他(繰入金, 起債)	2,590,592 千円	
一般財源		170,546 千円		
3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)				
平成30年度				
正規職員等		24.00		
再任用短時・任期付短時職員		0.00		
非常勤職員		0.00		
合計		24.00		
※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員				

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		行政費用 A	2,173,870	2,332,046	2,853,564	3,942,411				
		(1)現金を伴う支出 (千円)	2,178,146	2,336,097	2,858,590	3,932,516				
		事業費(支出済額-②報酬合計)	1,957,983	2,119,220	2,642,633	3,684,328				
		償還金利子	19,672	18,087	16,555	16,920				
		人件費合計(①+②+③)	200,491	198,790	199,402	231,268				
		職員数(常勤 非常勤)	21.00 0.00	21.00 0.00	21.00 0.00	24.00 0.00				
		参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167				
		①職員給与合計(常勤)	189,840	187,900	190,449	220,008				
		②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0				
		③退職金相当額	10,651	10,890	8,953	11,260				
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-4,276	-4,051	-5,026	9,895				
		①減価償却費	0	0	0	0				
		②退職給与引当金繰入額	-4,276	-4,051	-5,026	9,895				
		③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他()	0	0	0	0						
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)		5168.26	420,619	5485.81	425,105	6674.99	427,501	9182.98	429,317	

成果実績	指標名	使用収益開始面積	目標	2.0	単位	2.0	単位	2.5	単位	2.5	単位
					ha		ha		ha		ha
	実績	1.9	単位	1.9	単位	3.1	単位	1.3	単位		
				ha		ha		ha		ha	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		事業の進捗により、歩行者専用道路の整備による歩行者の安全確保、安全な通学路の確保等、住環境の向上が図られている。また、都市計画道路の整備により、沿線への店舗の出店が促進された結果、地域の活性化につながっている。								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,144,142,105.26	1,227,392,631.58	920,504,516.13	3,032,623,846.15					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	平成29年度に事業の円滑な進捗を図るため、事業区域内を5カ年毎の4期に区分し、的確な進捗管理を図る手法を考案した。現在、第1期2年目を終えたところであるが、今後も整備計画に基づき事業を推進するとともに、随時、進捗状況を確認し、管理を徹底していく必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	地権者との移転交渉に際し、移転先仮換地の整備はもとより、確実な移転を実現させるため、あわせて代替地案の検討も行う。 また、整備計画に基づき事業を推進するとともに、3ヶ月毎の進捗状況確認を基本とし、管理を徹底していく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	5カ年毎の整備計画に沿った進捗管理のもと、支障物件の移転や仮換地先の造成、公共施設の整備等を実施し、事業の進捗が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	都市計画道路石川下土棚線の整備はもとより、都市計画道路高倉遠藤線の拡幅用地確保のための補償業務を展開する。また、秋葉台公園用地の確保につながる換地設計を整える。 さらには、事業の自主財源である保留地処分金の安定的な確保に向けて、整備済都市計画道路の沿道街区の整備を進め、地権者の土地利用の促進及び保留地の確保に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	事業計画に関すること	無	無	1	
2	換地計画及び換地処分に関すること	無	無	1	3
3	補償担当業務に関すること	無	無	1	
4	事業施行区域内の街路築造工事の設計と監督	無	無	3	3
5	事業施行区域内の敷地造成工事の設計と監督	無	無	3	3
6	区画整理事業区域内施設等の修繕ほか作業に関すること	無	無	3	3
7	事業施行区域内の造成等に伴う擁壁築造に関する事務	無	無	1	
8	開発行為等の事前協議及び建築行為等の受付審査に関すること	無	無	1	1
9	審議会の運営及び評価員に関すること	無	無	3	
10	仮換地証明等手数料の受領・集計・調定・入金に関すること	無	無		1
11	保留地処分に関すること	無	無	3	3
12	事業施行区域内の公共下水道工事の設計と監督	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	藤村 勝己	確認日	2019/8/7
----	-------	----	-------	-----	----------